



平成 30 年 4 月からの組織体制

議会事務局	産業建設部
総務企画部	商工観光課
総務課	農林振興課
財務課	食の拠点推進課
広報情報課	水産振興課
ふるさと創生課	農地整備課
うずしお世界遺産推進課	建設課
市民協働課	下水道課
危機管理部	会計課
危機管理課	教育委員会
市民福祉部	教育総務課
総合窓口センター	学校教育課
税務課	社会教育課
環境課	体育青少年課
福祉課	行政委員会
子育てゆめるん課	選挙管理委員会事務局
長寿・保険課	監査委員事務局
健康課	農業委員会事務局
	固定資産評価審査委員会事務局

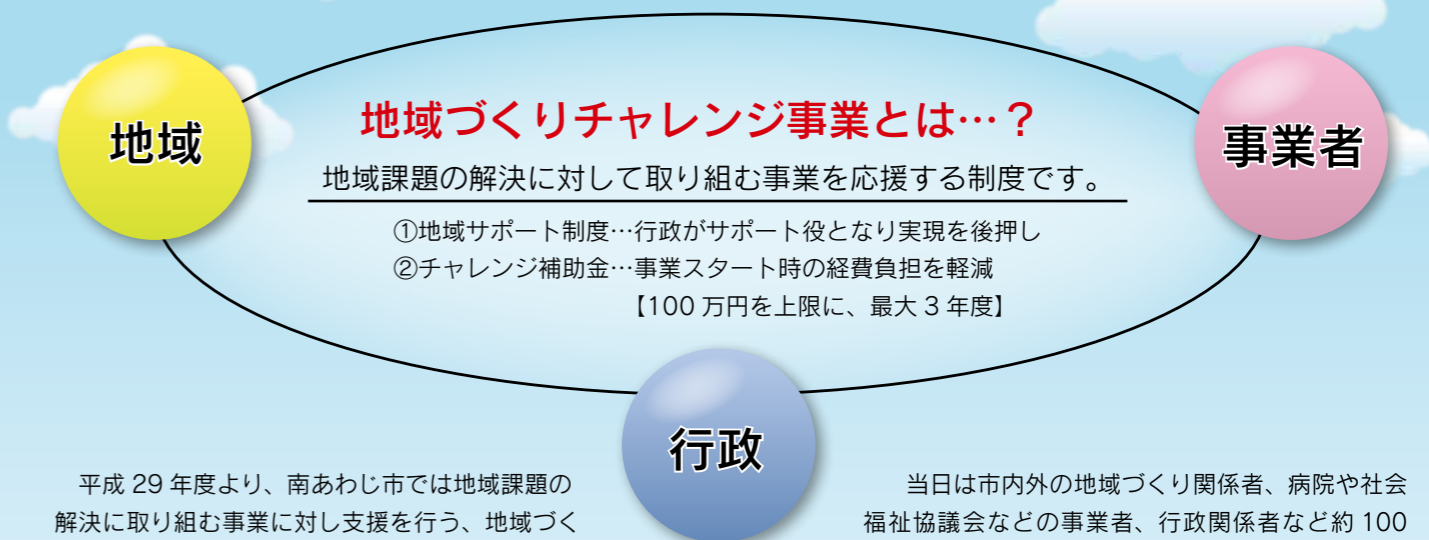
①総合窓口センターの設置
総合窓口センターを本庁舎1階に設置します。市民生活に密接な各種証明書発行業務や申請業務を総合窓口センターで行えます。また窓口業務の時間外受付を実施します。年末年始や祝日を除く毎週木曜日午後7時まで開庁します。昼間お仕事がある人にも便利になります。

②部門横断的な課題への対応を行うための組織の見直し
市民協働の推進や高齢化社会の克服などの課題に対応し、南あわじ市の強みを

積極的に育て発信する戦略的な組織体制を整えるため、部を集約し、行政課題に丁寧かつ的確に政策立案し、持続可能な南あわじ市を実現してまいります。なお、農林振興課農業共済係は本庁舎2階から第2別館1階に、下水道課は本庁舎2階から第1別館1階に事務所が移転します。

4月から市役所の組織が変わります

「地域づくりチャレンジ事業」がスタート



①地域サポート制度…行政がサポート役となり実現を後押し
②チャレンジ補助金…事業スタート時の経費負担を軽減
【100万円を上限に、最大3年度】

平成 29 年度より、南あわじ市では地域課題の解決に取り組む事業に対し支援を行う、地域づくりチャレンジ事業制度を新たに設けました。現在市内 21 地区において地域づくり協議会が設立されていますが協議会で話し合われた地域課題の解決に向けて、実際に事業を行う事業者と地域に対して市が支援を行います。今年度は賀集、福良、灘の地域づくり協議会がそれぞれ同意する3事業について提案があり、2月5日に複列公民館でプレゼンテーションを開催しました。

当日は市内外の地域づくり関係者、病院や社会福祉協議会などの事業者、行政関係者など約 100 人が参加し、提案者の発表と審査員からのアドバイスに耳を傾け、今後進めていく地域づくりの参考としました。いずれの事業も今年度認定を受け、事業をスタートさせましたが、今後継続的に効果をあげられるように地域、事業者、行政が協働して取り組んでいきます。



事業名：賀集お元気くらぶ
提案者：南淡路病院、賀集地域づくり協議会、南あわじ市長寿福祉課
目的：病院と地域が連携して、高齢者の健康意識、生活の質の維持・向上に取り組み、要介護状態の回避等につなげます。また、市福祉関係部署も協働のパートナーとして事業に参画します。
内容：平成 30 年度以降に地域の高齢者を対象とした体力測定、健康教室を開催します。



事業名：にんぎゃかな福良下町商店街～商店街に観光客を誘致発展へ～
提案者：特定非営利活動法人 淡路国プロジェクト（福良町づくり推進協議会 同意）
目的：地元産業を活用した創業者を誘致し観光客を街なかに引き込むことで、福良の商店街に賑わいを取り戻します。
内容：創業者の開業場所であり、地元住民と創業者をつなげる場所ともなるチャレンジショップをオープンするため、空き家の改修を行います。平成 29 年度は3月 17 日に「にんぎゃか福良んど」を開催し、創業希望者の模擬出店機会を提供します。



事業名：灘地区アンテナショップ「昇り坂」
提案者：灘活性委員会「昇り坂」（灘地区地域づくり協議会 同意）
目的：「昇り坂」自身が灘地区のアンテナショップとなり、灘のいいもの、いい場所を観光客に売り込み、灘地域に活気を生み出し、住民の気持ちを興じます。
内容：平成 29 年度は3日間限定で灘黒岩水仙郷内にアンテナショップをオープン。灘産の海産物を売り込み、地域の情報発信を行いました。

子どもたちへの支援が認められ内閣府から表彰

NPO 法人ソーシャルデザインセンター淡路では、障がい者や引きこもりの子どもへの支援を行っています。この活動が認められ、内閣府の「子供と家族・若者応援団表彰」の内閣府特命担当大臣表彰を受賞。1月30日、南あわじ市役所を訪れて守本市長に受賞の報告をしました。



▲守本市長（左から2番目）に表彰受賞の報告をした NPO 法人のメンバー

島内郵便局で淡路人形浄瑠璃オリジナルフレーム切手を販売



▲フレーム切手を受け取った守本市長（中央）と安達副支社長（右）と淡路人形座座員（左）

日本郵便は3度目となる淡路人形浄瑠璃のオリジナルフレーム切手の販売をスタートしました。1月16日には、淡路人形座で贈呈式が行われました。式典で日本郵便(株)近畿支社の安達章副支社長は「この切手を通して淡路人形浄瑠璃の魅力を伝えたい」と話しました。

